

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護倫理	NSP33_001	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小石川 好美	403	yoshimi.koishikawa	月～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	医療・看護に携わる者は、人間の基本的な人権を尊重し、個人の尊厳を遵守しなければならない。本科目では看護倫理の背景、専門職としての倫理、倫理概念や倫理原則の知識と共に、看護職者が直面する倫理的課題へのアプローチの方法について学ぶ。また、医療倫理や看護倫理の今日の課題について考え、看護職者としての倫理的態度を養うことを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	看護職として倫理を学ぶ意味を理解するために事前課題に取り組み、積極的に講義、ディスカッションに参加すること。				
教科書	看護倫理 看護の本質を探究・実践する (改訂第2版) /川口孝泰/2023/Gakken				
参考書	看護職の基本的責務 手島恵 日本看護協会出版会				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療：看護倫理の成立過程と看護倫理の重要性について説明できる。		NS(1)(3)		
②	倫理の基本的な知識について説明できる。		NS(1)(3)		
③	医療・看護倫理・生命倫理とは何か説明できる。		NS(1)(3)		
④	臨床で遭遇する倫理的課題について説明できる。		NS(1)(3)(4)		
⑤	倫理的課題の解決方法を説明できる。		NS(1)(3)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護倫理の基本的知識	講義	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	4	
2	医療・看護倫理の成立過程と倫理の重要性	講義	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	4	
3	医療・看護をめぐる倫理的問題①	講義 グループワーク	予習：実習において倫理的に問題だった場面とその理由を記述する。 復習：学びをまとめる。	4	
4	医療・看護をめぐる倫理的問題②	講義	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	4	
5	医療・看護をめぐる倫理的問題③	講義	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	4	
6	倫理的問題の検討 事例分析①	講義 グループワーク	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	3	
7	事例分析②	グループワーク・ プレゼンテーション	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びをまとめる。	3	
8	事例分析③ まとめ	グループワーク・ プレゼンテーション	予習：指定の事前課題に取り組み。 復習：学びを課題レポートにまとめる。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	40	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	倫理および看護倫理の基本的な知識について筆記試験で評価する。				試験問題・解答用紙を返却し、出題の意図と解答について解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	本科目での学びを踏まえて、看護職者としての倫理的態度を養うための自己の課題について記述する。				レポートにコメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	授業やグループワーク、レポート課題への取り組みを評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として40年の臨床経験を有し、臨床実践と学問的な知識、技術を併せて教授する						
実践的授業の内容	教員の実務体験の紹介や資料を用いることで、看護場面をイメージできるように工夫する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出は期日を厳守すること。 ・学習の進行状況によりスケジュールを変更することがあります。 ・今後の状況など社会情勢によってシラバスの変更を行う可能性があります。 						